

ふるさとわかまちづくり

乙部ヶ丘第1自治区

乙部ヶ丘地区建設の経過

昭和48年12月 用地買収開始
昭和63年 基本協定書
(愛知県住宅供給公社、住宅
都市整備公団、豊田市)
平成1年12月 造成開始
平成5年1月 まち開き「分譲開始」

自治区の誕生

平成5年3月 第1期入居(60戸)
乙部町自治区に属し、
4人の組長選出
平成5年11月 設立準備委員会設立

世話人による検討会	6回
豊田市との検討会	2回
乙部自治区からの研修	2回
役員各種検討会	10数回

平成5年12月 第2期入居(32戸)
平成6年3月 自治区設立総会の開催
第1回自治区総会の開催
平成6年3月 第3期入居(31戸)

乙部ヶ丘集会所の完成

平成9年度 待望の集会場完成
敷地300㎡
延床190㎡

まちづくりのルール

私たちの住む乙部ヶ丘は、猿投山の麓に広がる緑に囲まれた住宅団地です。宅地開発事業により、道路や公園及び宅地の整備が行われ、良好な居住環境が整いました。

この環境を長い年月維持し、さらに乙部ヶ丘の魅力を豊かにするため、美しくて住みたくするような町並み景観の創造を目指しました。



そこで建物の建築ルールである地区計画を定め、より良好な居住環境を形成・保全していくためにルールを定めています。

地域の変貌

わくわく事業での取り組み

乙部ヶ丘に住んでいる住民の手で、「楽しく安全な街まちづくり」を目指し、コミュニティ活動を活発にし、乙部ヶ丘のふるさとづくりを行うための活動を展開しています。

花と緑の多い街
花壇の整備・枯木、倒木の処理
安心できる暮らし
側溝の清掃・散策道整備
区民の活動支援・交流の場
本徳町マレットゴルフ場に協力



かえでひろば

子どもたちが身近な地域で安全に、安心して遊べる場所を確保し、その遊びを見守る人材ネットワークづくりを行うことを目的とし、40人で編成した「かえでひろば」が平成18年度から活動を行っています。(豊田市モデル事業第1号) 主に、集会所及び近隣の公園で、平日の放課後に遊ぶ子どもの見守り活動を展開しています。



地域の課題

乙部ヶ丘自治区は開発段階からおおよそ、交通、下水道、公園などの生活基盤整備はされていますが、その内の欠けていた公共交通機関も、この4月1日より基幹バス運行ということで解決されました。

しかし、一時期の開発が渋滞した時期と、ここ2、3年、急激に入居される方の増加に伴い



新たに大きな課題が提起され、その対応を討議しています。

その課題とは、区を1自治区で行くのか分割するのか、それに伴い区民の活動の拠点になるメインの集会所建設問題です。(既設のものでは手狭なため)

いずれにせよ、この3月総会にて決定され、平成20年度には具体的な計画を立案し、実現に向け進行すると思われます。

乙部ヶ丘第1自治区データ

(H19.4 現在)

設立：平成6年4月
世帯数：859世帯
(955世帯：平成19年12月)
(123世帯：平成6年4月)

組数：38組
面積：0.56km²
自治区たより：「ふれあいたより」年6回発行
回覧：月2回
防犯灯設置箇所：158箇所
小学校：東保見小学校
自治区会館：乙部ヶ丘集会場
ホームページ

<http://hm9.aitai.ne.jp/~otobe182/>